

戦後70年企画

# 長野県民の1945

——疎開・動員体験と上原良司——

平成27年 7月25日(土) — 9月15日(火)

開館時間=9時~17時(入館は16時30分まで) 休館日=毎週月曜日 \*ただし、9月1日(火)は休館、9月14日(月)は開館

観覧料=一般500(400)円/高・大学生250(200)円/小・中学生120(100)円 \*()内は団体20名以上

\*次に該当する場合は無料になります。 平日学校の教育活動として観覧する県内の小・中・高・特別支援学校生 / 障がい者手帳などの交付を受けている方と介護の方 / 土・日曜、祝日及び振替休日に観覧する小・中・高・特別支援学校生

主催=長野県教育委員会、長野県立歴史館

協力=上原清子 後援=(一財)長野県遺族会、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、市民タイムス、信州・市民新聞グループ(7紙)、長野市民新聞社、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、信州ケーブルテレビジョン、INC長野ケーブルテレビ、テレビ松本、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

長野県立歴史館 〒387-0007 千曲市屋代 260-6  
Tel: (026) 274-2000 <http://www.npmh.net/>

交通案内—— 長野自動車道・上信越自動車道「更埴」インターチェンジから車で5分。しなの鉄道「屋代」駅・「屋代高校前」駅から徒歩25分。



上原良司(1922-45)

1945年(昭和20)4月末ごろ 調布飛行場にて、陸軍三式戦闘機「飛燕」とともに

# 長野県民の1945

## 疎開・動員体験と上原良司

先の大戦が終結してから70年が経とうとしています。

戦後70年にあたり、長野県民の1945年(昭和20)に焦点を当てた展示を企画しました。

展示は、長野市、上田市など県内各地への空襲、兵士や従軍看護婦としての動員、特攻隊員として戦死した上原良司(現安曇野市出身)の平和へのメッセージ、軍機関や工場、県外からの学童や多くの人びとの疎開、という四つのテーマで構成しました。

また、先の大戦を記憶している人たちも年々減りつつある今、平和を守り、戦争の惨禍を二度と繰り返さないためには、いかに後世に戦争の記憶を伝えていくかが重要です。企画展期間中に、戦争を体験された皆さんから当時の様子をお話しいただく講座を開催します。あわせて、戦後県内各地で作られた戦争体験証言記録集を展示しますので、手にとってお読みください。

### 関連イベント

講演会「長野県と長野県民の1945」

7月25日(土) 午後1時30分～

上條宏之氏(長野県短期大学学長)

証言「戦争体験を語る」

①8月8日(土) ②8月22日(土) ③9月5日(土)

④9月12日(土)

いずれも午後1時30分～

講座「戦争遺跡にみる祈りの形」

8月15日(土) 午後1時30分～

原明芳(当館総合情報課長)

・いずれも観覧料が必要です。すべてを受講いただける割引券を発行します。

・小、中、高、特別支援学校生は無料です。

・終了後、展示解説を行います。

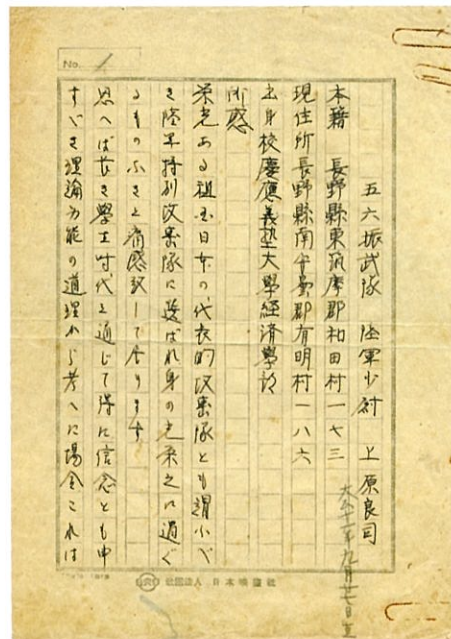
交通案内  
長野自動車道・上信越自動車道「更埴」ICから車で5分。  
しなの鉄道「屋代」駅、「屋代高校前」駅から徒歩25分。  
高速道路バス停「上信越道・屋代」から徒歩5分。



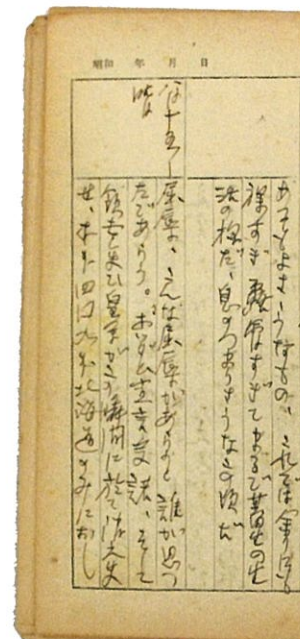
〒387-0007 千曲市屋代 260-6 Tel: (026) 274-2000 <http://www.npmh.net/>



日章旗(1945年、当館蔵)



上原良司「所感」(1945年、個人蔵)



児玉勝子日記(1945年、当館蔵)



光明学校の疎開児童(1945年頃、個人蔵)



救護医用救護箱(日本赤十字社長野県支部蔵)



救護員制服(日本赤十字社長野県支部蔵)